

介護ロボット導入効果報告書
(1年目 2年目 3年目 最終)

令和 5年 4月 28日

沖縄県知事 様

令和 4年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県中城村字添石363番地
事業主体名 社会福祉法人 いなほ会
代表者職氏名 理事長 新垣 元

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 いなほ会		介護老人保健施設 信成苑		介護老人保健施設	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
移乗支援ロボット		ロボヘルパーSASUKE			
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リース・レンタルの契約期間	
令和5年 3月 17日	1台	令和5年 3月 17日		年 月 日から 年 月 日まで	
【目標の達成状況】					
①達成項目(複数選択可)					
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化 <input type="checkbox"/> その他 ()					
②達成内容					
<small>※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。</small>					
・移乗支援ロボットを導入して未だ1ヶ月程度であるため、対象の利用者を1人にしぼり、まずは職員一人ひとりが安全に使える事を目的として進めている。そのため現時点では目標に掲げた入所者5名を一日4回×職員1名の対応には届いていないが、一定期間その経験を積むことで目標達成することを目指している。					
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】					
<small>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</small>					
・令和5年3月13日 業者による介護ロボット導入勉強会を行った。 ・導入した移乗支援ロボットは、要介護5の全介助の方に使用している。食事や離床のタイミングで移乗時に使用しているが、現段階では利用者の安全を最優先に考えリハビリ専門職も介入した上で、職員2人体制で安全確認しながら移乗支援を行っている。					
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】					
<small>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</small>					
・介護ロボットの導入効果は3カ月程度使用し、その上で検証する必要がある。但し、現段階でこれまで身体的な負担を抱えながら行っていた移乗支援が力頼りにならず、なおかつ安全に行えていることから、職員の身体的・精神的負担の軽減、移乗時の事故予防、リスク軽減が大いに見込まれている。					
【介護ロボットの不都合な点の課題】					
<small>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</small>					
・移乗ロボットは初めての導入であり、職員一人ひとりがその操作方法や安全な利用について自信を持って行えるまでに時間を要する。 ・利用者の状態も十人十色であることやリクライニング車いすにも複数の種類があることから、移乗用ロボットのポジションが合わない等複数の課題があり、現在、安全に利用できる車いすの選定等試案中である。 ・型が古い車いすもあるため、適正な車いすの購入も検討している。					

※1年目の提出時には下記も作成してください

【介護ロボット本体の写真】

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



【介護ロボット使用状況の写真】

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

